

2018年度 部長の「仕事目標」 年度末成果

2018年度 部長の「仕事目標」の年度末成果をまとめました。
 その中から、主な取り組みの成果をご紹介します。町田市ホームページにすべての取り組みの成果を公開しています。

問経営改革室 ☎724・2503

政策経営部長 小島 達也	経営改革室長 水越 祐介	広報担当部長 若林 真一	総務部長 榎本 悦次
取り組み	取り組み	取り組み	取り組み
評価	評価	評価	評価
次期基本計画策定に向けた検討	行政経営改革プランの推進	まちだ〇ごと大作戦の展開	職員の配置基準(案)の作成、異動基準の見直し
C	B	C	C
未来づくりプラン、「町田市5ヵ年計画17-21」の推進	市役所業務の生産性の向上	既存の広報手法の見直し	会計年度任用職員制度の導入
C	B	D	C
町田市公共施設再編計画の策定・推進	経営品質向上活動の実施	市内外の町田市に対する認知度及び好感度の向上	やりがいを持っていきいきと働ける健康職場づくりの支援
B	C	D	D
情報システム担当部長 中田 直樹	財務部長 堀場 淳	営繕担当部長 徳重 和弘	税務担当部長 小口 充
取り組み	取り組み	取り組み	取り組み
評価	評価	評価	評価
情報セキュリティ監査の実施	健全で持続可能な財政の確立	財源と再編計画を踏まえた公共施設の維持保全と長寿命化	市税の収納率の維持・向上
C	A	C	B
災害時における事業継続性の確保	財源確保策の強化	特定天井脱落防止対策の推進	一元化に係る強制徴収公債権の収納率の向上
C	B	C	B
ICTを活用した業務の自動化	公会計情報によるマネジメント機能の強化	施設管理者との連携強化に向けた施設台帳の整備と活用	非強制徴収公債権及び私債権の一元化の推進
B	C	B	C
防災安全部長 篠崎 陽彦	市民部長 今野 俊哉	市民協働推進担当部長 平林 隆彦	文化スポーツ振興部長 能條 敏明
取り組み	取り組み	取り組み	取り組み
評価	評価	評価	評価
自主防災リーダーの育成	さわやか窓口の推進	地区協議会の活動支援	東京2020オリンピック・パラリンピックのキャンプ地招致
C	B	A	A
防犯啓発活動の推進	玉川学園コミュニティセンター建替	地域団体を支える新たな支援体制の構築	国際版画美術館や博物館の魅力ある展覧会の開催
B	C	C	C
消防団員の確保による組織の充実	コンビニにおける証明書発行の推進	新たな協働による地域社会づくりの推進	文化芸術やスポーツ資源を活かしたシティセールスの展開
C	D	C	C
地域福祉部長 神田 貴史	いきいき生活部長 奥山 孝	保健所長 広松 恭子	子ども生活部長 三橋 薫
取り組み	取り組み	取り組み	取り組み
評価	評価	評価	評価
市民後見人育成の推進	地域包括ケアシステムの深化・推進	医療安全支援体制の整備	子どもの活動拠点及び身近な居場所の整備
B	B	C	B
障がい者の相談支援体制の充実	「生活習慣病等予防事業実施計画(データヘルス計画)」の推進	がん予防対策の推進	待機児童をゼロにするための施設整備
B	C	C	C
生活困窮者の自立に向けた相談支援の実施	良質な施設介護サービスの提供の促進	自殺対策の推進	多様なニーズに応えられる教育・保育サービスの充実
C	D	C	C
経済観光部長 小池 晃	北部・農政担当部長 荻原 康義	環境資源部長 水島 弘	循環型施設建設担当部長 田中 耕一
取り組み	取り組み	取り組み	取り組み
評価	評価	評価	評価
中心市街地活性化の推進	里山環境の回復や保全を促進する仕組みの構築	持続可能なエネルギー事業の促進	町田リサイクル文化センターにおける熱回収施設等の稼働
B	B	D	C
町田薬師池公園四季彩の杜ブランドマネジメントの推進	遊休農地の活用	町田生きもの共生プランの推進	相原地区における資源ごみ処理施設の稼働
C	C	C	D
創業の支援	農産物の地産地消の推進	家庭系・事業系ごみの減量と資源化の推進	上小山田地区における資源ごみ処理施設の稼働
B	C	B	D
道路部長 福田 均	都市づくり部長 神蔵 重徳	多摩都市モノレール推進担当部長 神蔵 重徳	都市整備担当部長 萩野 功一
取り組み	取り組み	取り組み	取り組み
評価	評価	評価	評価
駅周辺施設の整備	町田薬師池公園四季彩の杜の整備	多摩都市モノレールの延伸検討	町田駅周辺のまちづくりの推進
C	C	B	B
みちづくり・まちづくりパートナー事業による都市計画道路の整備	バス路線網再編		鶴川駅周辺街づくりの推進
C	A		C
都市計画道路の整備	南町田駅周辺地区のにぎわいある拠点づくり		住所整理の推進
B	A		C
下水道部長 大場 信吾	会計管理者 高階 康輔	市民病院事務部長 亀田 文生	議会事務局長 古谷 健司
取り組み	取り組み	取り組み	取り組み
評価	評価	評価	評価
安心して住める住環境の整備	会計事務システムの再構築(事務の効率化)	地域医療連携の推進	議場見学の推進
D	C	B	B
総合地震対策整備事業の実施	下水道事業への地方公営企業法適用対応	患者満足度の向上	議会関心度の向上
C	C	B	B
鶴見川クリーンセンターの増設工事の推進	財務諸表の更なる活用方策の開拓	経営の安定化	他自治体からの視察状況の把握
C	B	C	C
選挙管理委員会事務局長 大曾根 政一	監査事務局長 高橋 修一	農業委員会事務局長 荻原 康義	学校教育部長 北澤 英明
取り組み	取り組み	取り組み	取り組み
評価	評価	評価	評価
公平・公正な選挙執行体制の確立	リスクアプローチ監査におけるリスク評価方法の検証	農地利用集積円滑化事業による農地のあっせん	町田市教育プラン(2019年度～2023年度)の策定
C	C	C	C
投票行動につながる若年層への啓発の実施	専門的知見を活用した監査の実施	市街化調整区域における農地利用最適化	安全・快適な教育環境の整備
C	C	B	C
投票環境の改善に向けた取り組みの実施	職員の能力の向上	市街化区域における農地利用最適化	児童や生徒の学力・体力の向上に向けた取り組みの実施
C	D	C	C
生涯学習部長 中村 哲也	評価基準 A：当初の目標を大幅に上回る成果を達成した B：目標水準を上回る成果を達成した C：ほぼ目標水準を達成した D：成果が不十分である E：取り組みが滞っている		
取り組み	部長の仕事目標の流れ 部長は、年度当初にその年度の目標を設定し、中間期に取り組みの進捗状況、年度末に取り組みの成果を確認し、評価を行います。各段階において、市長がその内容を確認します。		
生涯学習施設のあり方の検討	目標設定 → 中間確認 → 成果確認自己評価 ↓ 市長確認		
文化財の保存・活用			
地域づくり型生涯学習の推進			